

I 人口に関する主要指標（昭和30年～36年5月）

(a) 人口動態関係

年月	人口	増加人口					増加割合(人口1,000につき)			
		総数 (純増加)	自然動態			社会増加	純増加	自然動態		
			出生	死亡	自然増加			出生	死亡	自然増加
昭和30年	89,275,529	892,954	1,697,878	707,032	990,846	-7,740	10.00	19.02	7.92	11.10
31年	90,170,000	753,761	1,603,714	763,663	840,051	-10,191	8.36	17.79	8.47	9.32
32年	90,920,000	837,293	1,630,164	701,342	928,822	-6,997	9.21	17.93	7.71	10.22
33年	91,760,000	872,519	1,662,101	690,882	971,219	-10,612	9.51	18.11	7.53	10.58
34年10月	92,630,000	66,150	128,480	55,839	72,641	187	0.71	1.39	0.60	0.78
11月	92,700,000	59,492	124,235	55,684	68,551	-3,053	0.64	1.34	0.60	0.74
12月	92,760,000	51,838	128,431	66,790	61,641	-4,570	0.56	1.38	0.72	0.66
35年1月	92,810,000	82,589	166,230	71,325	94,905	-3,978	0.89	1.79	0.77	1.02
2月	92,890,000	66,212	142,732	64,433	78,299	-5,402	0.71	1.54	0.69	0.84
3月	92,960,000	69,692	149,773	73,201	76,572	156	0.75	1.61	0.79	0.82
4月	93,030,000	64,600	144,360	71,878	72,482	-1,360	0.69	1.55	0.77	0.78
5月	93,090,000	57,774	127,624	56,325	71,299	-7,692	0.62	1.37	0.61	0.77
6月	93,150,000	53,334	115,846	49,694	66,152	-7,434	0.57	1.24	0.53	0.71
7月	93,200,000	62,787	126,379	49,283	77,096	-7,970	0.67	1.36	0.53	0.83
8月	93,270,000	68,005	130,865	49,411	81,454	-6,583	0.73	1.40	0.53	0.87
9月	93,330,000	72,301	129,875	47,795	82,080	-2,479	0.77	1.39	0.51	0.88
10月	93,418,501	67,540	126,128	54,459	71,669	-4,129	0.72	1.35	0.58	0.77
11月	93,490,000	62,569	124,082	55,110	68,972	-6,403	0.67	1.33	0.59	0.74
12月	93,550,000	58,687	128,407	65,560	62,847	-4,160	0.63	1.37	0.70	0.67
36年1月	93,610,000	81,751	159,401	75,469	83,932	-2,181	0.87	1.70	0.81	0.90
2月	93,690,000	69,400	137,574	66,738	70,836	-1,436	0.74	1.47	0.71	0.76
3月	93,760,000	80,087	144,956	69,450	75,506	4,581	0.85	1.55	0.74	0.81
4月	93,840,000	87,740	141,628	58,410	83,218	4,522	0.93	1.51	0.62	0.89
5月	93,930,000	70,845	127,031	53,131	73,900	-3,055	0.75	1.35	0.57	0.79

備考：総理府統計局「人口推計月報」による。人口は外国人（駐留軍、外交官およびその家族を除く）を含む総人口で、昭和30年および35年国勢調査による人口を基準として、その後毎月の増加人口を累加して推計したもの。昭和30～33年の各年分は10月1日現在、34年10月以降の各月分は毎月1日現在の推計値。増加人口の各年分は10月～9月の計。出生、死亡数には、人口と合わせるため届け出のあった外国人も含む。自然動態の昭和34年以降は概数。増加割合は、実数に基づいて各年、各月分ともそれぞれ期間初めの人口で除したもの。したがって、前号までの算出方法と異なるので注意を要する。なお、昭和35年9月以前の純増加は、昭和35年国勢調査の人口概数を用いて暫定補間補正された補正数を含んでいるため、自然増加と社会増加との和に一致しない。

(b) 労働力関係

(単位 千人)

年月	15歳以下人口	労働力人口					増加数			雇用指数 (昭30=100.0)	
		総数	就業者			完全失業者	15歳以下人口	労働力総数	就業者総数	鉱業	製造業
			総数	農林業	非農林業						
昭和30年	59,060	41,560	40,880	16,860	24,020	680	1,340	790	840	100.0	100.0
31年	60,400	42,350	41,720	16,450	25,270	630	1,350	1,010	1,120	140.6	109.5
32年	61,750	43,360	42,840	16,070	26,770	520	1,320	320	280	110.6	123.1
33年	63,070	43,680	43,120	15,470	27,650	560	1,500	600	580	112.6	128.4
34年	64,570	44,280	43,700	15,370	28,330	580	1,100	870	1,020	112.3	142.7
35年	65,670	45,150	44,720	14,920	29,790	430	---	---	---	108.5	164.9
36年1月	65,770	42,730	42,290	11,370	30,900	440	70	250	210	106.4	171.0
2月	65,840	42,980	42,500	11,520	30,950	480	40	1,630	1,580	105.5	171.6
3月	65,880	44,610	44,080	12,960	31,070	530	40	1,200	1,350	104.5	175.5
4月	65,920	45,810	45,430	15,090	30,280	380	70	870	920	103.6	183.6
5月	65,990	46,680	46,350	16,490	29,810	330	---	---	---	102.6	183.5

備考：労働力人口は、総理府統計局「労働力調査報告」による。労働力調査は、わが国人口の就業状態について月々の変化を明らかにすることを目的として毎月実施され、全国を代表する約13,000調査世帯に常住する人口約50,000人を対象とするが、就業状態についての詳しい調査は、そのうち満15歳以上の者のみについて行なわれている。調査は毎月末日に終わる1週間の事実についてのもの。就業者には休業中の者も含む。なお、昭和30～35年の各年分は年平均の数値で、増加数もその差増。

雇用指数は、労働大臣官房労働統計調査部「労働経済指標」により、毎月勤労統計調査の月末常用労働者数(30人以上を雇用する全事業所)によって算定されている。なお、昭和36年1月以降は暫定指数。